



KFA -第4種- Referee Report

vol.5
2021.12

最新NEWS

○JFA 第45回全日本U-12サッカー選手権大会 香川県大会○ を振り返って
2021年10月31日(日)～11月21日(日)【香川県総合運動公園・他2会場】で開催

【大会結果】

優勝	DESAFIO (E)
準優勝	香西
3位	朝比奈 (M)
4位	ANIMO
努力賞	高松第一 (O)
敢闘賞	宇多津 (H)

【大会概要】

2021年10月31日(日)～11月21日(日) 香川県総合運動公園・他2会場に於いて、"JFA第45回全日本U-12サッカー選手権大会 香川県大会"が開催されました。

本大会でも、全試合が「主審」「補助審」の2人審判制で行われました。ご担当いただいた審判員の方々、寒い中ありがとうございました。

以前よりレポートで何度かお伝えさせていただきましたが、主審と補助審のコミュニケーションの頻度・内容について、大会を重ねるごとに、多く・濃くなっていると感じました。繰り返すことにより、新たな発見や新たなチャレンジにつながるのではないかと思います。

これまでの各大会期間中やそれ以外でも、多くの方から様々なご意見をいただいております。ジャッジについての疑問点や改善点、競技規則の確認や理想とするコミュニケーションなど、出来るだけ多くの関係者と出来るだけ多くの情報や知識を共有していきたいと思います。

関わっているのは機械ではなく人です。良いゲーム・良い関係性を築くためにも、継続して共に高みを目指していくことが出来れば幸いです。

【プロフェッショナルレフェリー(PR)の勇退】

プロフェッショナルレフェリー(PR)で、Jリーグ担当審判員の「村上伸次」「家本政明」両審判員が、2021シーズンをもってトップリーグ担当審判員から勇退されました。

お二人共、長い間トップリーグでご活躍されてきましたが、その間、体重の管理や筋力の維持、体脂肪率のコントロールなど、並々ならぬ努力をしてこられたのだと感じました。そんなお二人にとっての"審判とは?"について、JFAホームページより引用させていただきます。

※村上さんにとって審判とは?

サッカーの試合において審判員は目立つ存在です。選手より先にピッチに入りますし、試合を始めるための笛を吹く役割を担っています。いい判定をしても中々取り上げられませんが、間違えた判定をするとすぐに目立ってしまいます。難しい仕事ではありますが、やりがいや喜びは大きいものです。一度やってみるとその魅力が分かるのではないかと思います。

※家本さんにとって審判とは?

最初は「ルールの門番」的な存在なのかなと漠然と考えていましたが、いろいろ経験し、多くの価値観に触れ合う中で、門番とは少し異なるな、と考えるようになりました。

「感動や喜びの創造者」というイメージですね。スポーツには感動や喜びが不可欠なので、その世界観を創りあげるのも審判に求められている役割の一つなので「感動や喜びの創造者」がレフェリーなのかな。と思っています。

《引用元》<http://www.jfa.jp/referee/>

『審判はその地域の関わった選手と試合によって育てられる』

『その地域の審判とサッカーのレベルはリンクしている』

大会名	第4種 審判委員会 今後の活動予定	会場
第10回 香川県U-9新春サッカー大会	予選リーグ	成合河川敷グラウンド B.C
〃	決勝TM	東部運動公園 第1,2サッカー場
第12回 香川県ジュニアチャンピオンシップ	U-12の部	東部運動公園 第1サッカー場
〃	U-11の部	東部運動公園 第1サッカー場

大会期間中、"リスペクトワッペン"（右部画像）の付いたウェアを着た 第4種 審判委員を見掛けたら、
気軽に声掛けしてください!!

また大会期間中に限らず、"グリーンカード"もどんどん活用（提示）してください!!

RESPECT
大切に思うこと